

2019年3月期 決算説明会

2019年 5月 14日

喜びを創り喜びを提供する

 寿スピリッツ

<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



証券コード 2222

目次

- 2019年3月期 決算概要 P 1～22
- 2020年3月期 通期業績予想 P 23～27
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 28～51
- 株式の状況・株主還元 P 52～55
- 参考情報 P 56～69



2019年3月期 決算概要

2019年3月期の業績ハイライト

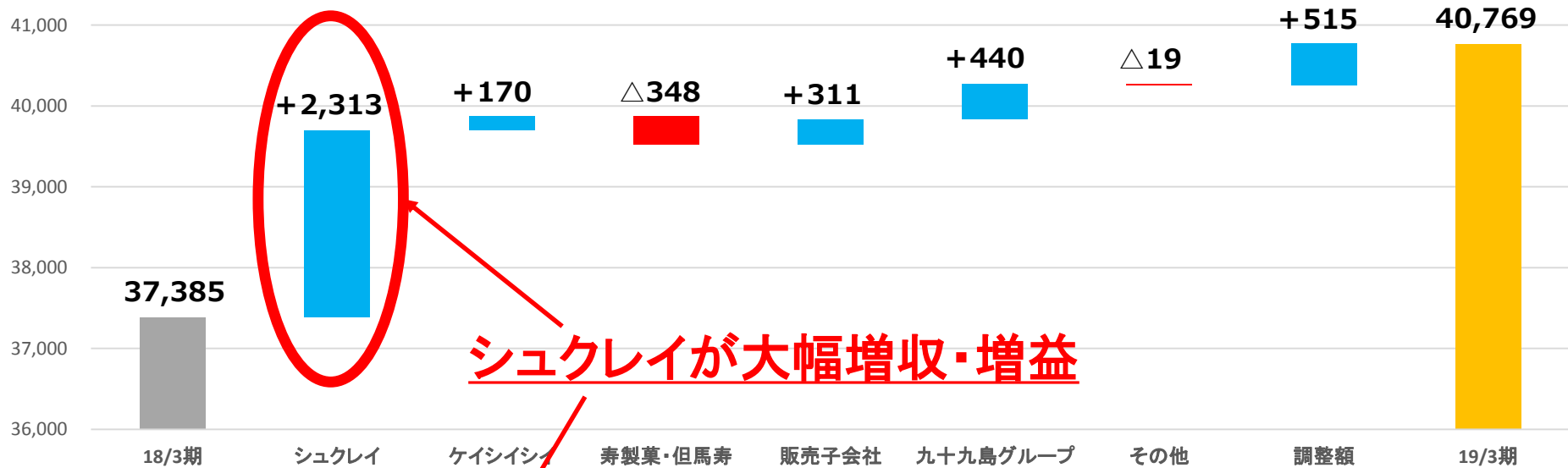
経常利益 19.1%増益 4期連続最高益更新

(第4四半期会計期間：売上高13.4%増収、経常利益 29.0%増益)

- シュクレイの売上高は、**20.0%増収**の13,860百万円、営業利益は**76.0%増益**の2,090百万円となり、グループ業績を牽引。
- インバウンド売上高(国際線ターミナル免税エリア売上)は、**32.6%増収**の4,605百万円となり、着実に伸長。
- 九十九島グループは、収益構造の改善に向けた取り組みが奏功し、営業損益が**黒字転換**。

【売上高】2019年3月期業績の前年同期比増減分析

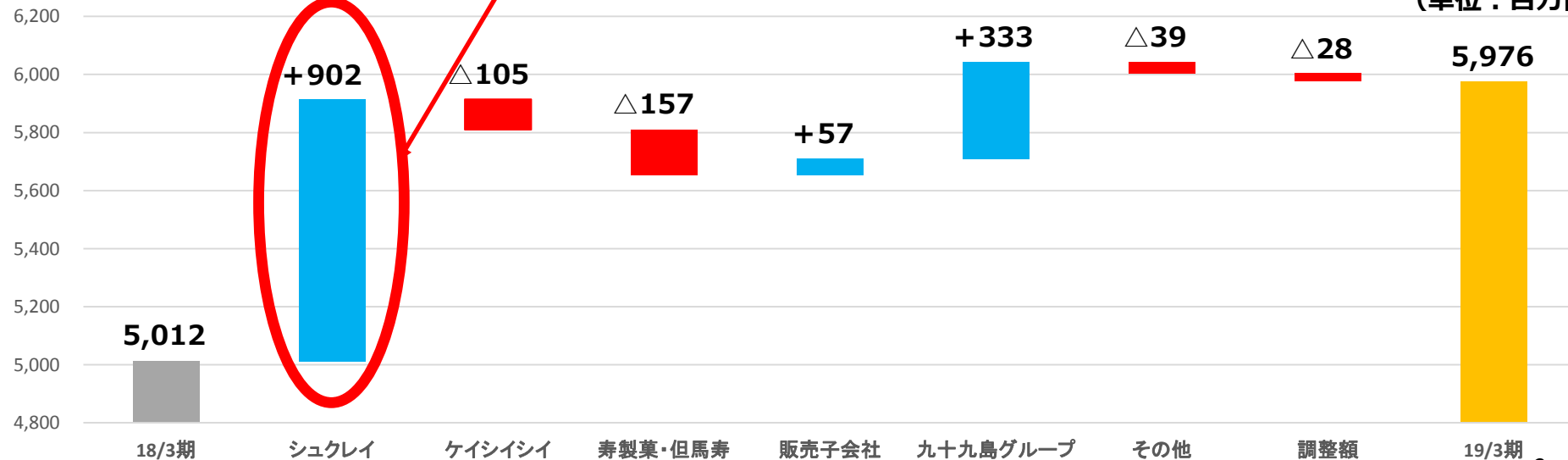
(単位：百万円)



シュクレイが大幅増収・増益

【営業利益】2019年3月期業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



重点施策の成果①

・インバウンド対策の強化

【インバウンド売上高】

(単位：百万円)

2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率
3,472	4,605	+1,133	+32.6%

インバウンド売上高・・・国内空港国際線ターミナル免税エリアでの売上



重点施策の成果②

・海外展開（海外における事業モデルの構築）

【海外売上高】

（単位：百万円）

2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率
1,156	1,318	+162	+14.0%

海外売上高・・・台湾は現地法人売上、その他の地域は国内出荷売上（ロイヤルティを含む）



TOKYO MILK CHEESE FACTORY 台湾 Breeze atre 南山店



重点施策の成果③

・首都圏でのWSR化展開の推進

【シュクレイ売上高】

(単位：百万円)

2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率
11,547	13,860	+2,313	+20.0%



シュクレイの売上高(前年比較)

(単位:百万円)

	18/3月期	19/3月期	増減	増減比
店舗	5,907	6,552	644	10.9%
催事	1,999	2,534	535	26.8%
通販	216	276	60	27.8%
卸	3,249	4,232	983	30.3%
卸(グループ向)	175	266	91	51.7%
合計	11,547	13,860	2,313	20.0%



通期のトピックス①

シュクレイ 首都圏を中心に新規出店・既存ブランドのリロケーションを加速

ハイブリッド

シュクレイ2019年3月期
新規出店リロケーション
(首都圏のみ)



MAPLE STAND
by The MAPLE MANIA

**MAPLE
DINER**
by The MAPLE MANIA

- ・洋菓子の فرانセ表参道本店 (2018年6月)
- ・MAPLE STAND by The MAPLE MANIA ルミネ北千住 (2018年11月)
- ・MAPLE DINER by The MAPLE MANIA 新宿ミロードモザイク通り (2018年12月)

リロケーション



- ・Butter Butler NEWoMan 新宿 (2018年6月)
- ・MILLE-FEUILLE MAISON FRANÇAIS 松屋銀座 (2018年8月)

新規出店



Premium Caramel
Benedictine Cake for Gents.
GENDY
GENZY EST.2018

- ・CAMEL GHOST HOUSE 東京駅 銘品館東京南口店 (2018年8月)
- ・CAMEL GHOST HOUSE ラゾーナ川崎プラザ店 (2018年11月)
- ・côte cour ラゾーナ川崎プラザ店 (2018年11月)
- ・côte cour 松屋銀座 (2018年9月)
- ・GENDY 銀座 (2019年3月)

プレミアム・ギフトスイーツ



MAPLE STAND
by The MAPLE MANIA

MAPLE STAND by The MAPLE MANIA ルミネ北千住(2018年11月)



MAPLE DINER by The MAPLE MANIA 新宿ミロードモザイク通り(2018年12月)



GENDY銀座(2019年3月)

通期のトピックス②

ケイシイシイ 大阪・東京で新ブランドでのハイブリッド型店舗展開をスタート



Fuwa-Trois 阪急うめだ本店 (2018年6月)



Good Morning Table 高島屋大阪店 (2018年10月)



now on Cheese♪ ルミネ新宿店 (2018年12月)

通期のトピックス③

グループ各社 地方主要地域において、各ブランドでの新規出店を推進



福岡・沖縄 (FC)



福岡



長崎



出雲



京都



京都



京都



京都



神戸



大阪



大阪



三重寿庵 岩戸屋内宮前店 出店(2018年11月) - 10 -

業績サマリー

売上高は8期連続、当期純利益は7期連続の最高値更新

(百万円、%)	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期
売上高	22,967	26,612	32,536	37,385	40,769
(対前期比)	(+0.1%)	(+15.9%)	(+22.3%)	(+14.9%)	(+9.1%)
営業利益	2,034	3,277	3,847	5,012	5,976
(対前期比)	(△13.2%)	(+61.1%)	(+17.4%)	(+30.3%)	(+19.2%)
経常利益	2,070	3,326	3,898	5,049	6,012
(対前期比)	(△12.4%)	(+60.7%)	(+17.2%)	(+29.5%)	(+19.1%)
当期純利益 ^{※1}	1,305	2,305	2,572	3,534	3,972
(対前期比)	(+2.1%)	(+76.7%)	(+11.6%)	(+37.4%)	(+12.4%)
売上高経常利益率(%)	9.0	12.5	12.0	13.5	14.7
EPS (円) ^{※2}	41.92	74.08	82.66	113.56	127.64
BPS (円) ^{※3}	288.53	346.14	409.20	497.16	587.87
ROE (%)	15.3	23.3	21.9	25.1	23.5

※1当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益(他の資料箇所も同様)

※2.3 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

15年3月期・16年3月期のEPS及びBPS数値につきましては15年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

2019年3月期業績(対前期)

売上高 対前期比9.1%増 経常利益 同19.1%増
当期純利益 同12.4%増

(百万円、%)	18年3月期		19年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	37,385	—	40,769	—	3,384	9.1
売上総利益	21,278	56.9	23,882	58.6	2,604	12.2
販売管理費	16,266	43.5	17,907	43.9	1,641	10.1
営業利益	5,012	13.4	5,976	14.7	964	19.2
経常利益	5,049	13.5	6,012	14.7	963	19.1
当期純利益	3,534	9.5	3,972	9.7	438	12.4
EPS(円)	113.56		127.64		14.08	
ROE(%)	25.1		23.5		△ 1.60	

セグメント別業績(対前期)

シュクレイの営業利益が20億円を突破

九十九島グループは、収益構造の改善に向けた取り組みが奏功し、黒字転換

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	18/3期	19/3期	増減額	増減率	18/3期	19/3期	増減額
シュクレイ	11,547	13,860	2,313	20.0	1,188	2,090	902
ケイシイシイ	11,841	12,012	170	1.4	1,657	1,553	△ 105
寿製菓・但馬寿	10,428	10,080	△ 348	△ 3.3	1,230	1,073	△ 157
販売子会社	5,518	5,829	311	5.6	409	467	57
九十九島グループ	3,319	3,759	440	13.3	△ 213	120	333
その他	340	321	△ 19	△ 5.5	△ 53	△ 91	△ 39
セグメント計	42,994	45,862	2,868	6.7	4,219	5,211	992
調整額	△ 5,608	△ 5,093	515	△ 9.2	794	765	△ 28
合計	37,385	40,769	3,384	9.1	5,012	5,976	964

セグメント別業績の補足説明

<p>シュクレイ</p>	<p>売上面は、既存店舗の強化、新規出店及びリロケーション、催事、卸展開を推進したことにより各販売チャネルで軒並み続伸。利益面においても、増収効果に加え、生産効率の改善が図られ、売上総利益率は前期比4.7ポイント増加した結果、大幅な増収・増益に。</p>
<p>ケイシイシイ</p>	<p>道内店舗や国際線ターミナル免税エリアでの販売が好調に推移した一方、生産移管に伴うグループ向け売上の減少や物流コストの増加、昨年9月に発生しました北海道胆振東部地震のマイナス影響を受けた結果、増収・減益に。</p>
<p>寿製菓・但馬寿</p>	<p>代理店向け売上が堅調に推移した一方、グループ全体における製造キャパシティ拡大の観点から、グループ向け生産の一部を他のグループ製造拠点に移管した影響により、グループ向け売上が減少した結果、減収・減益に。</p>
<p>販売子会社</p>	<p>インバウンド対策及び催事展開などにより関西地区の販売子会社が堅調に推移、東海地区では、昨年11月に新店した伊勢神宮内宮前のテナント店の好調が寄与した結果、増収・増益に。</p>
<p>九十九島グループ</p>	<p>テーマパーク向けOEM生産の中止、製造ライン新設によるグループ向け売上の増大、ライン統合、新商品開発、「アイボリッシュ」の事業拡大など収益構造の改善に向けた取り組みが奏功し、黒字転換に。</p>

売上高(販売チャネル別)

店舗販売はシュクレイ直営店及び催事の好調などにより対前期比 9.9%増
卸売はインバウンド売上の伸長などにより同9.3%増

(百万円、%)	18年3月期		19年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	37,385	—	40,769	—	3,384	9.1
通信販売	2,527	6.8	2,527	6.2	△ 1	△ 0.0
(内ルタオ通販)	2,011	5.4	1,955	4.8	△ 56	△ 2.8
店舗販売	16,510	44.2	18,149	44.5	1,639	9.9
卸売	17,143	45.9	18,731	45.9	1,588	9.3
海外	1,156	3.1	1,318	3.2	162	14.0
その他	49	0.1	45	0.1	△ 4	△ 8.8

(注) 店舗販売は、主に直営店舗、催事など
卸売は、主に小売店(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど
その他は健康食品事業、損害保険代理業など

売上原価・売上総利益

売上総利益率 対前期比 1.7ポイント増加

(百万円、%)	18年3月期		19年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	37,385	—	40,769	—	3,384	9.1
材料費	8,969	24.0	9,592	23.5	623	6.9
労務費	4,052	10.8	3,966	9.7	△ 86	△ 2.1
製造経費	2,140	5.7	2,538	6.2	398	18.6
製造原価計	15,162	40.6	16,097	39.5	935	6.2
その他	945	2.5	790	1.9	△ 156	△ 16.5
売上原価合計	16,107	43.1	16,887	41.4	779	4.8
売上総利益	21,278	56.9	23,882	58.6	2,604	12.2

販売管理費・営業利益

売上高販売管理費率 対前期比0.4ポイント増加

(百万円、%)	18年3月期		19年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上総利益	21,278	56.9	23,882	58.6	2,604	12.2
人件費	6,599	17.7	7,016	17.2	417	6.3
販売促進費	3,129	8.4	3,139	7.7	10	0.3
運賃	1,270	3.4	1,705	4.2	435	34.2
広告宣伝費	265	0.7	268	0.7	3	1.2
地代家賃	2,174	5.8	2,591	6.4	417	19.2
減価償却費	375	1.0	451	1.1	76	20.2
旅費交通費	589	1.6	638	1.6	50	8.4
その他	1,865	5.0	2,098	5.1	233	12.5
販売管理費	16,266	43.5	17,907	43.9	1,641	10.1
営業利益	5,012	13.4	5,976	14.7	964	19.2

● 運賃の増加は、物流コストの上昇及び売上増加に伴うもの。

公表数字に対する達成率

上期は台風・地震のマイナス影響(※1)を受け、予想数値を下回った一方
 下期は重点施策が奏功した結果、通期では売上面・利益面ともに期初予想を上回る

(百万円、%)	期初予想※2		19年3月期		対期初予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	40,600	—	40,769	—	169	100.4
売上総利益	23,450	57.8	23,882	58.6	432	101.8
販売管理費	17,650	43.5	17,907	43.9	257	101.5
営業利益	5,800	14.3	5,976	14.7	176	103.0
経常利益	5,850	14.4	6,012	14.7	162	102.8
当期純利益	3,820	9.4	3,972	9.7	152	104.0

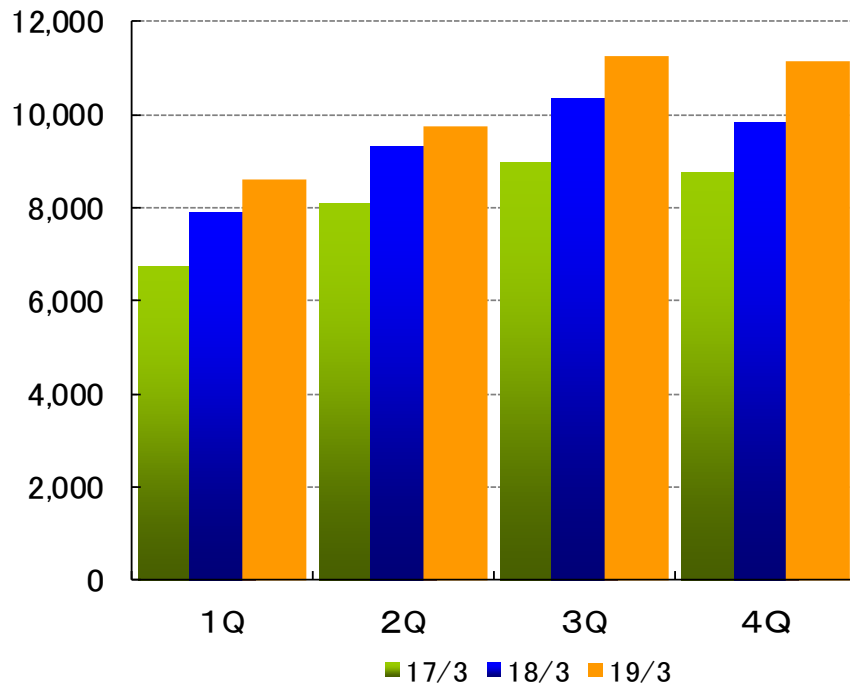
※1 マイナス影響額(推計値)売上高295百万円、営業利益201百万円

※2 期初予想は2018年5月14日公表数値

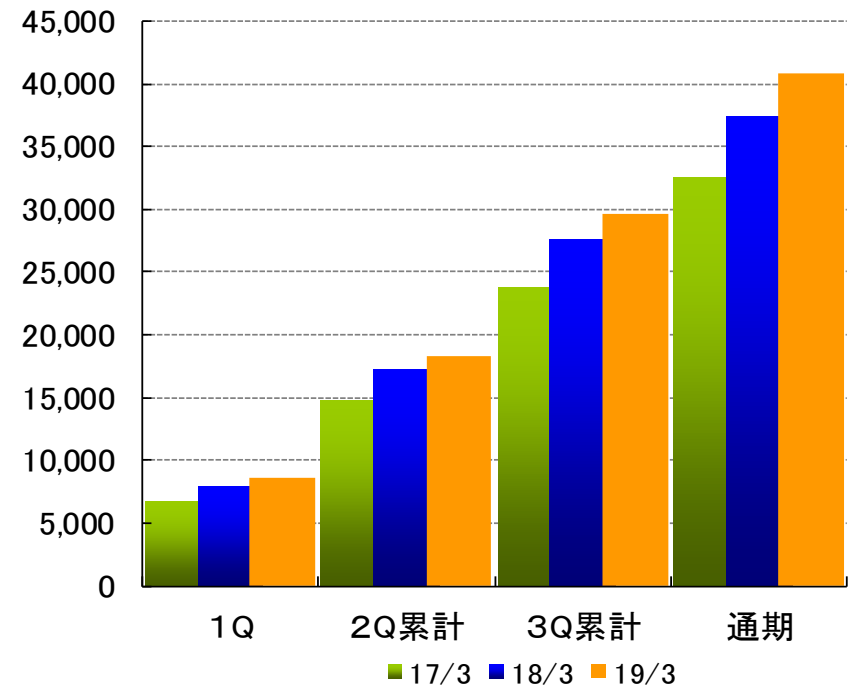
四半期業績の推移(売上高)

16四半期連続で増収/4Q(会計)13.4%増収

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



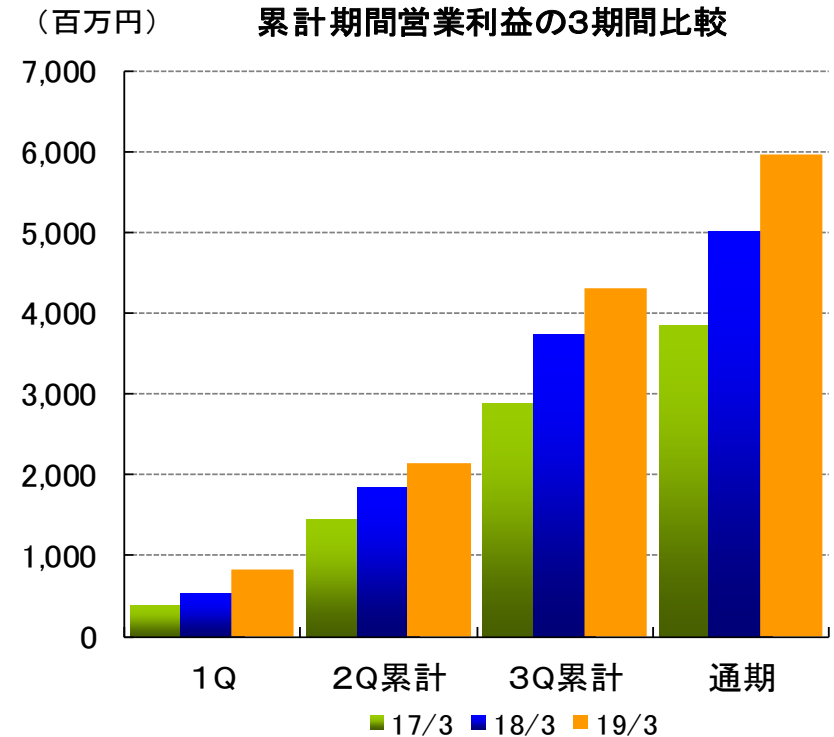
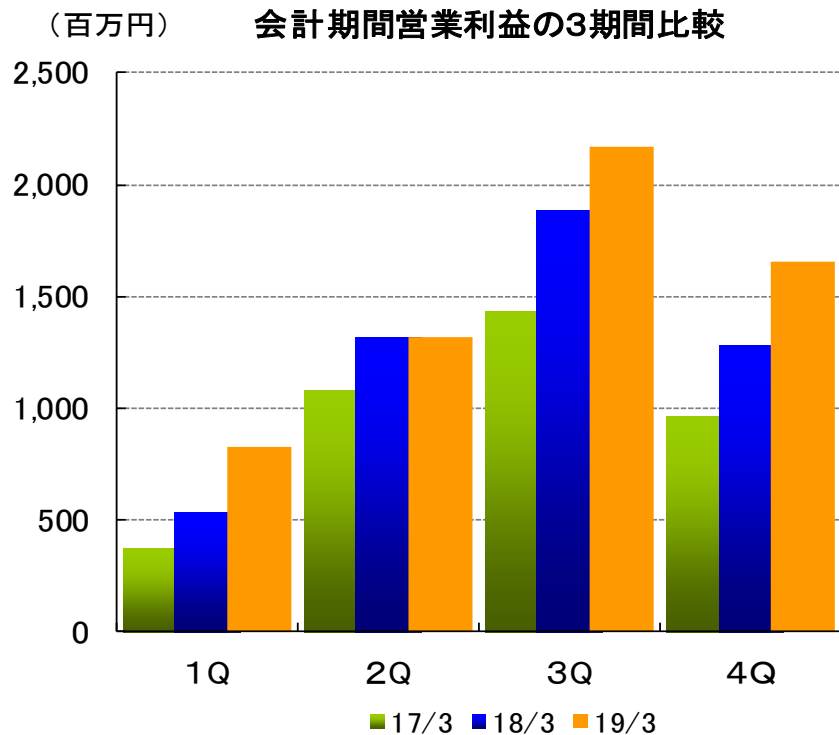
(百万円) 累計期間売上高の3期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
17/3	6,724	8,077	8,984	8,751	6,724	14,801	23,785	32,536
18/3	7,920	9,299	10,328	9,838	7,920	17,219	27,547	37,385
19/3	8,601	9,747	11,268	11,153	8,601	18,348	29,616	40,769
増減率	8.6%	4.8%	9.1%	13.4%	8.6%	6.6%	7.5%	9.1%

四半期業績の推移(営業利益)

16四半期連続で増益/4Q(会計)29.4%増益



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
17/3	373	1,080	1,430	965	373	1,453	2,882	3,847
18/3	535	1,314	1,882	1,281	535	1,849	3,731	5,012
19/3	830	1,321	2,167	1,658	830	2,151	4,318	5,976
増減率	55.1%	0.5%	15.2%	29.4%	55.1%	16.3%	15.7%	19.2%

貸借対照表

工場改修、製造ラインの新設、新規出店などにより設備投資額は
対前期比237百万円増加の2,185百万円

(百万円、%)	17年3月期		18年3月期		19年3月期		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	9,049	46.4	10,925	49.0	13,202	50.9	2,277	20.8
固定資産	10,451	53.6	11,352	51.0	12,751	49.1	1,399	12.3
資産合計	19,500	100.0	22,277	100.0	25,954	100.0	3,677	16.5
流動負債	4,727	24.2	4,908	22.0	5,804	22.4	897	18.3
固定負債	2,039	10.5	1,898	8.5	1,855	7.1	△ 43	△ 2.3
負債合計	6,766	34.7	6,805	30.5	7,659	29.5	854	12.5
純資産	12,734	65.3	15,472	69.5	18,294	70.5	2,823	18.2
負債純資産合計	19,500	100.0	22,277	100.0	25,954	100.0	3,677	16.5
BPS(円)	409.20		497.16		587.87		90.71	18.2
設備投資額	1,472		1,948		2,185		237	12.2
減価償却費	879		1,049		1,234		184	17.6

●『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ期末残高は対前期比911百万円増加の5,660百万円

(百万円、%)	17年3月期	18年3月期	19年3月期	対前期	
	通期	通期	通期	増減額	増減率
営業活動CF	3,071	4,158	4,697	539	13.0
投資活動CF	△ 967	△ 1,853	△ 2,434	△ 581	31.4
フリーCF	2,104	2,305	2,264	△ 42	△ 1.8
財務活動CF	△ 1,809	△ 1,108	△ 1,352	△ 245	22.1
cashに係る換算差額	3	△ 0	△ 0	0	△ 47.5
cash増減	297	1,197	911	△ 286	△ 23.9
cash期首	3,254	3,551	4,749	1,197	33.7
cash期末	3,551	4,749	5,660	911	19.2
有利子負債	1,011	693	433	△ 260	△ 37.6



2020年3月期 通期業績予想

2020年3月期 通期業績予想のポイント

● 予想スタンス

本年10月に予定されている消費税率引上げによる消費マインド悪化懸念など、当社グループを取り巻く事業環境は、厳しさが増すものと予想。そのような状況下、引き続き、首都圏及びインバウンド対策の強化、生産性の向上などにより、増収・増益を見込む。

● セグメント

「シュクレイ」は、新規出店効果、ブランド認知度向上により好調持続、「ケイシイシイ」は、グループ向け生産移管も一巡、昨年9月発生 of 北海道胆振東部地震におけるマイナス影響の反動あり。「寿製菓・但馬寿」、「九十九島グループ」は生産移管の影響は第1四半期で一巡。「その他」には、連結子会社となり連結の範囲に含めたHoney Sucrey Limited(香港)を加算。

● 新規出店等

新規出店では、シュクレイで「レモンショップbyフランセ」小田急新宿駅西口(本年4月)、「キャラメルゴーストパーティ」キラリナ京王吉祥寺(本年4月)など。

● 設備投資・減価償却費

設備投資計画は、製造ラインの合理化、増産に向けた新設・改修などにより22億円を予想。減価償却費予想は14.5億円。

2020年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高**45,200**百万円(前期比**+10.9%**)、経常利益**7,000**百万円(同**+16.4%**)
純利益**4,550**百万円(同**+14.5%**)

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	40,769	-	45,200	-	4,431	10.9
売上総利益	23,882	58.6	26,870	59.4	2,988	12.5
販売管理費	17,907	43.9	19,900	44.0	1,993	11.1
営業利益	5,976	14.7	6,970	15.4	994	16.6
経常利益	6,012	14.7	7,000	15.5	988	16.4
純利益	3,972	9.7	4,550	10.1	578	14.5
EPS(円)	127.64		146.21		18.57	14.5
1株当たり配当金(円)	40.00		40.00		-	-
設備投資	2,185		2,200		15	0.7
減価償却費	1,234		1,450		216	17.5

2020年3月期 通期業績予想(セグメント別)

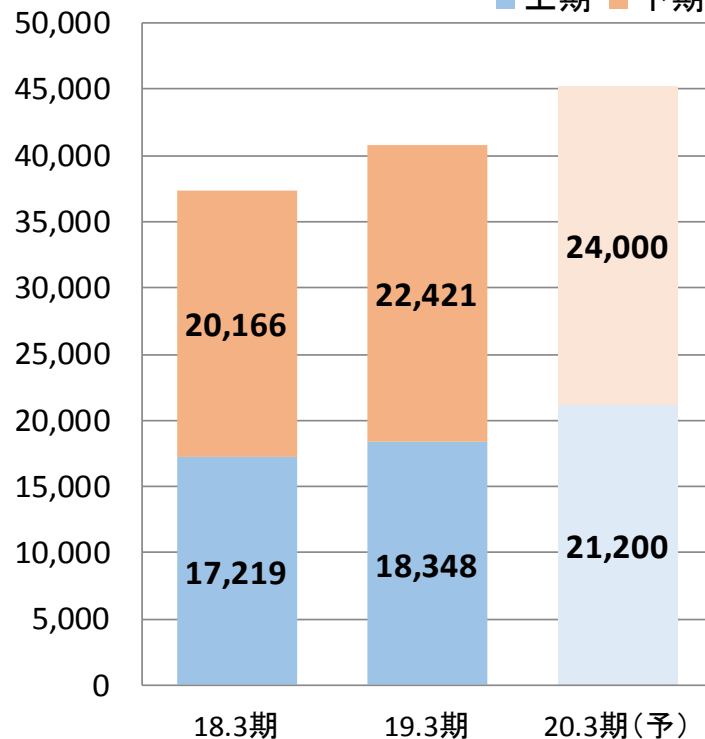
シュクレイ 売上高16,000百万円 営業利益2,480百万円

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	19/3月期	20/3月期予	増減額	増減率	19/3月期	20/3月期予	増減額
シュクレイ	13,860	16,000	2,140	15.4	2,090	2,480	390
ケイセイシー	12,012	13,000	988	8.2	1,553	1,790	237
寿製菓・但馬寿	10,080	10,680	600	6.0	1,073	1,156	83
販売子会社	5,829	6,170	341	5.8	467	507	40
九十九島グループ	3,759	4,300	541	14.4	120	220	100
その他	321	750	429	133.4	△ 91	△ 97	△ 6
セグメント計	45,862	50,900	5,038	11.0	5,211	6,056	845
調整額	△ 5,093	△ 5,700	△ 607	11.9	765	914	149
合計	40,769	45,200	4,431	10.9	5,976	6,970	994

2020年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)

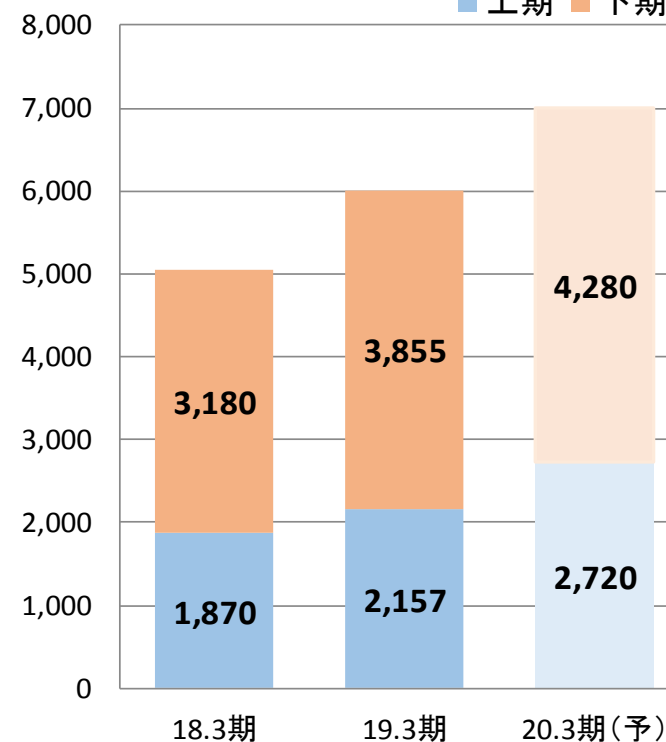
(百万円)

売上高

■ 上期 ■ 下期


(百万円)

経常利益

■ 上期 ■ 下期


(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	18.3期	構成比	19.3期	構成比	20.3期(予)	構成比	18.3期	構成比	19.3期	構成比	20.3期(予)	構成比
上期	17,219	46.1%	18,348	45.0%	21,200	46.9%	1,870	37.0%	2,157	35.9%	2,720	38.9%
下期	20,166	53.9%	22,421	55.0%	24,000	53.1%	3,180	63.0%	3,855	64.1%	4,280	61.1%
通期	37,385	100.0%	40,769	100.0%	45,200	100.0%	5,049	100.0%	6,012	100.0%	7,000	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

●「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進

●地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2019年経営スローガン

超超絶 WSR!!

WSR ワールド サプライジング リゾート宣言
 ワールド(W) **世界へ**
 サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**
 リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

実践項目

シンカ・スピード・シンプル!

シンカ 販売力、商品力、売場力をシンカさせる

スピード スタートの早さ、スピードの速さで完了の早さを追求する

シンプル イレギュラーを減らし、シンプルな流れに

目標指標

売上高経常利益率 20%

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

重点施策

①GTS(グレート・トランスフォーメーション・サクセス)

GTSとは、『Great・Transformation・Success』=大転換における成功を意味し、スピードとエネルギーを象徴する言語として命名

◆ビジネスモデル・商品・売場・販売のGTS化を図る

例:ハイブリッド型店舗(Premium Gift Sweets × Premium Fresh Sweets)の推進



ハイブリッド型店舗とは



×



(物販)

Premium Gift Sweets

(カフェ・工房)

Premium Fresh Sweets



×



(物販)

Premium Gift Sweets

(カフェ・工房)

Premium Fresh Sweets

重点施策

②インバウンド対策の強化

- ・国内空港国際線ターミナル免税エリアでの催事・常設売場拡大に注力
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



シュクレイブランド 羽田空港 セントラル特設売場



LeTAO 成田空港 本館AKIHABARA催事

重点施策

③海外展開（海外における事業モデルの構築）

- ・ハイブリッド型店舗の出店強化
- ・出店地域は、台湾、香港、韓国、フィリピン、タイ、シンガポール、中国マレーシアの8カ国



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
シンガポール Jewel Changi Airport店(2019年4月)

GLACIEL 中国上海店(2019年2月)

重点施策

④首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 既存店売上の増大、新規出店、リロケーション、催事強化及び卸売販路拡大
- ・グループ各社 主力ブランドによる催事展開の推進



重点施策数値目標

(単位：百万円)

	実績 18年3月期	実績 19年3月期	目標数値 20年3月期
インバウンド売上	3,472	4,605	5,700
海外売上	1,156	1,318	1,800
シュクレイ売上	11,547	13,860	16,000

インバウンド売上…国内空港国際線ターミナル免税エリアでの売上

海外売上…台湾及び香港(20/3期から)は現地法人売上、その他の地域は、国内出荷売上(ロイヤルティ含む)

シュクレイ売上…シュクレイの売上はインバウンド及び海外売上を含む

Memo

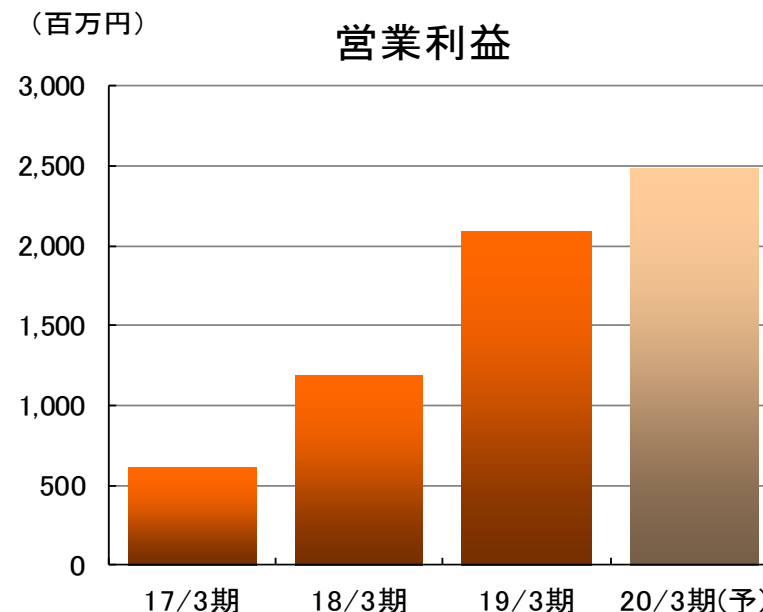
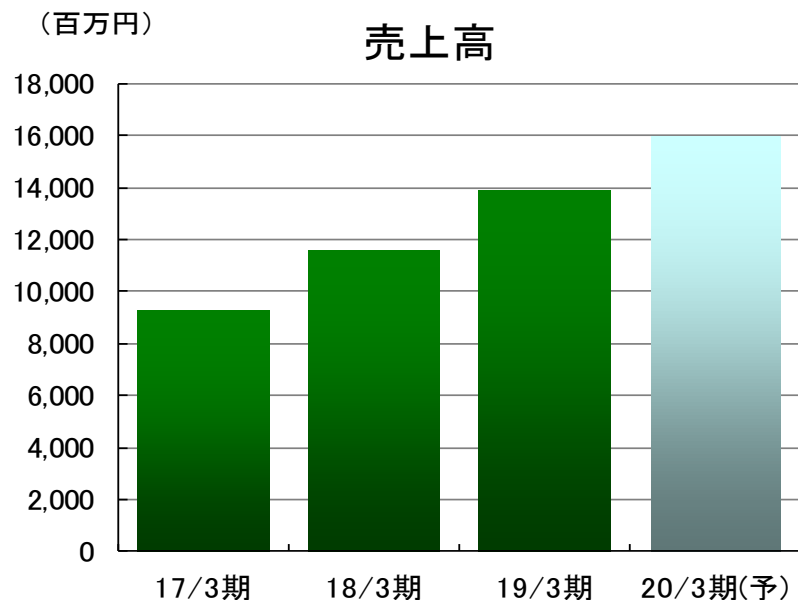
セグメント別概況



- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

《シュクレイ》

20/3期予想:売上高 **16,000**百万円(前期比**+15.4%**)営業利益 **2,480**百万円(同**+18.7%**)



シュクレイ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,275	11,547	13,860	2,313	20.0	16,000	2,140	15.4
売上総利益	4,990	6,692	8,682	1,991	29.7	10,120	1,438	16.6
粗利率	53.8	58.0	62.6	4.7		63.3	0.6	
販売管理費	4,379	5,504	6,592	1,089	19.8	7,640	1,048	15.9
営業利益	611	1,188	2,090	902	76.0	2,480	390	18.7

※従来、独立セグメントとしていたフランセは、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、シュクレイに統合。17/3期実績は、当該報告セグメント区分に基づき組替えた数値を使用しております。



《シュクレイ》

現場力の強化により、更なるブランド価値の向上を図り、首都圏での成長を加速させる

- ・既存店の更なるレベルアップと新規出店、リロケーション、催事及び卸展開の強化
- ・新規出店では、駅商業施設を中心にハイブリッド型店舗による新たな売場獲得を図る



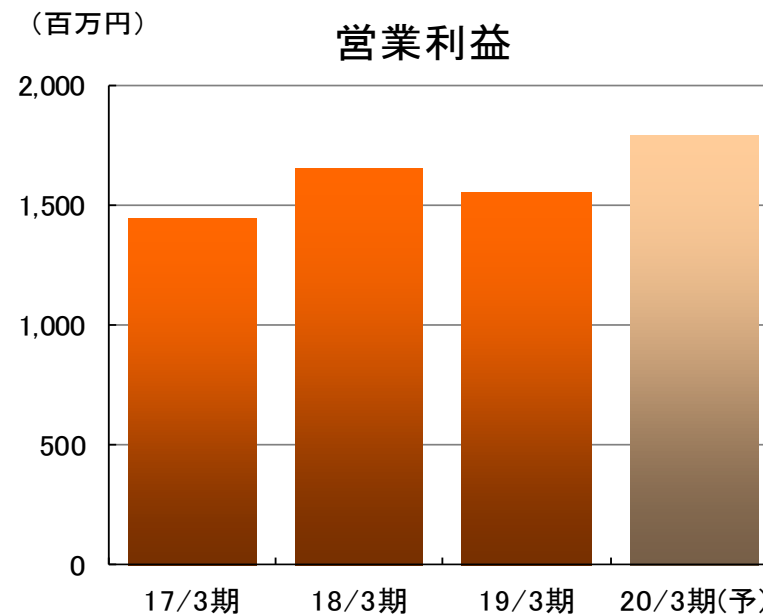
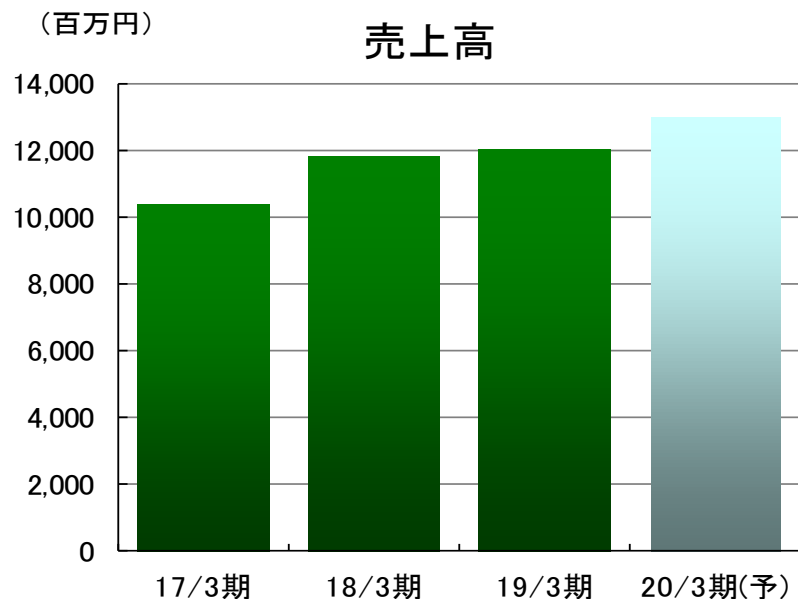
レモンショップ by FRANCAIS
小田急新宿駅西口地下構内出店(2019年4月)



CARAMEL GHOST PARTY キラリナ京王吉祥寺(2019年4月)

《ケイシイシイ》

20/3期予想:売上高 **13,000**百万円(前期比**+8.2%**)営業利益 **1,790**百万円(同**+15.3%**)



ケイシイシイ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,376	11,841	12,012	170	1.4	13,000	988	8.2
売上総利益	6,280	7,230	7,479	249	3.4	8,170	691	9.2
粗利率	60.5	61.1	62.3	1.2		62.8	0.6	
販売管理費	4,834	5,573	5,927	353	6.3	6,380	453	7.6
営業利益	1,446	1,657	1,553	△ 105	△ 6.3	1,790	237	15.3

《ケイシイシイ》

LeTAOの更なるブランド価値向上と新ブランド展開に注力

- ・商品開発を推進し、季節イベントでの訴求力向上を図る
- ・首都圏でのハイブリッド型店舗展開を推進



LeTAO 母の日フラワーギフト

Petit Chocolat

プチショコラ

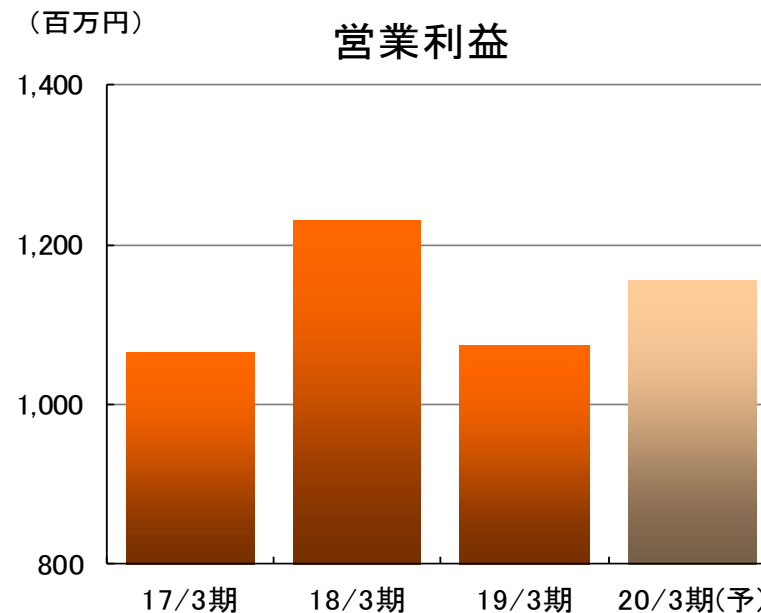
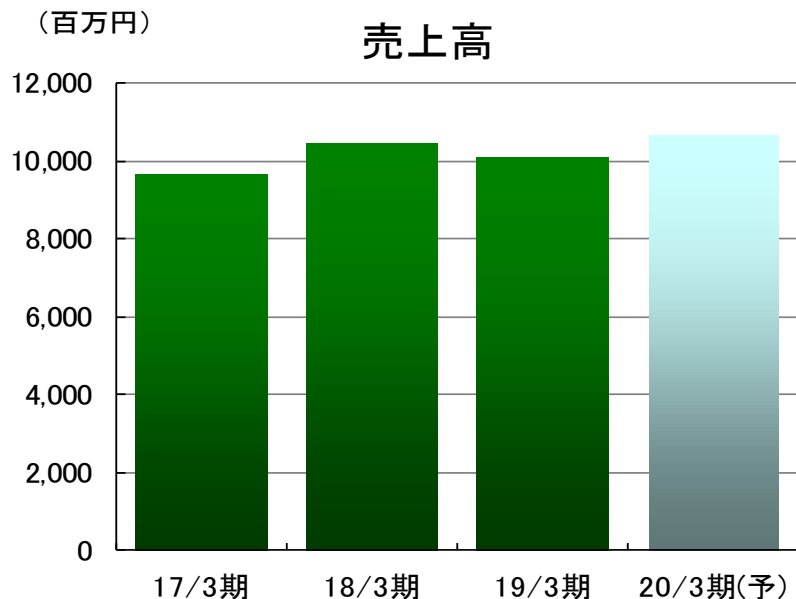
小さな1粒1粒に、
大きな美味しさを。



Petit Chocolat

《寿製菓・但馬寿》

20/3期予想:売上高 **10,680**百万円(前期比**+6.0%**)営業利益 **1,156**百万円(同**+7.7%**)



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,635	10,428	10,080	△ 348	△ 3.3	10,680	600	6.0
売上総利益	3,748	3,958	3,866	△ 92	△ 2.3	4,026	160	4.1
粗利率	38.9	38.0	38.4	0.4		37.7	△ 0.7	
販売管理費	2,682	2,729	2,793	64	2.4	2,870	77	2.8
営業利益	1,065	1,230	1,073	△ 157	△ 12.7	1,156	83	7.7

《寿製菓・但馬寿》

新ライン体制構築により、多種多様な製品生産システムの一層のレベルアップを図る

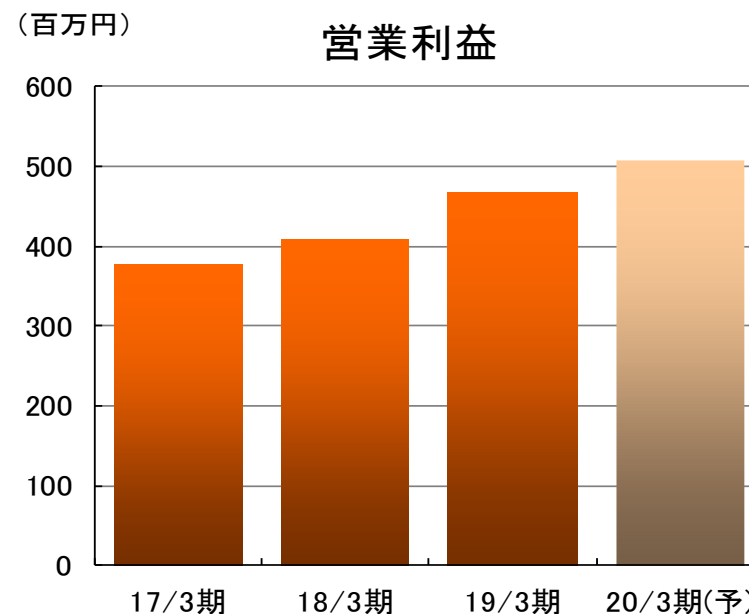
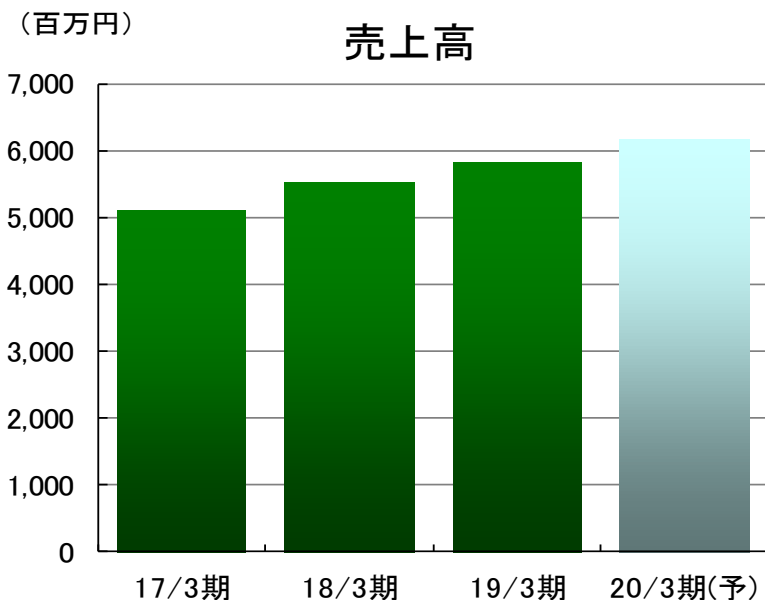
- ・代理店及びグループ各社との連携強化により、主力商品の強化及び新商品の育成をサポート
- ・自社ブランドでは、「因幡の白うさぎ」などの主力商品強化、「KAnoZA」ブランドでの催事展開を推進



鳥取空港 鳥取大丸エアポートショップ リニューアルオープン(2018年8月)

《販売子会社》

20/3期予想:売上高 **6,170**百万円(前期比**+5.8%**)営業利益 **507**百万円(同**+8.6%**)



販売子会社

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	5,120	5,518	5,829	311	5.6	6,170	341	5.8
売上総利益	1,706	1,863	2,057	193	10.4	2,193	136	6.6
粗利率	33.3	33.8	35.3	1.5		35.5	0.3	
販売管理費	1,329	1,454	1,590	136	9.3	1,686	96	6.0
営業利益	377	409	467	57	14.0	507	40	8.6



《販売子会社》

主力商品の育成及び新商品の拡販に向け、提案営業強化

- ・交通拠点チャネル(駅・空港・SA)を中心に、売場拡大、リロケーションなど提案営業を強化



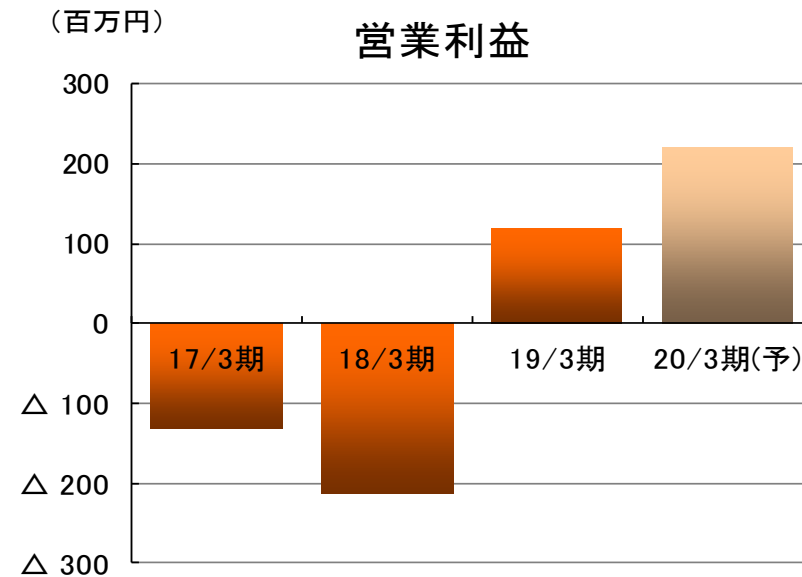
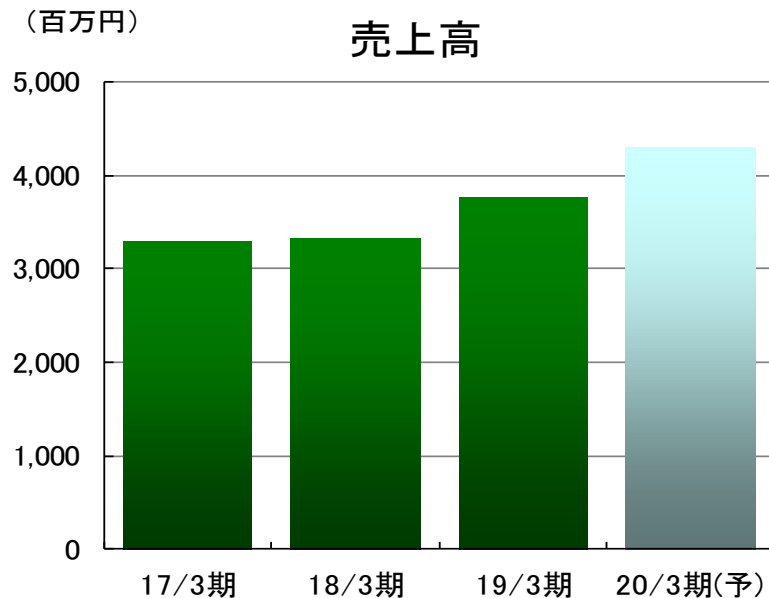
BISPOCKE 神戸本店オープン(2019年4月)



海のエクレア

《九十九島グループ》

20/3期予想:売上高 **4,300**百万円(前期比**+14.4%**)営業利益 **220**百万円(同**+83.8%**)



九十九島グループ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,287	3,319	3,759	440	13.3	4,300	541	14.4
売上総利益	1,389	1,383	1,709	326	23.6	1,990	281	16.5
粗利率	42.2	41.7	45.5	3.8		46.3	0.8	
販売管理費	1,519	1,596	1,589	△ 7	△ 0.4	1,770	181	11.4
営業利益	△ 131	△ 213	120	333	-	220	100	83.8

《九十九島グループ》

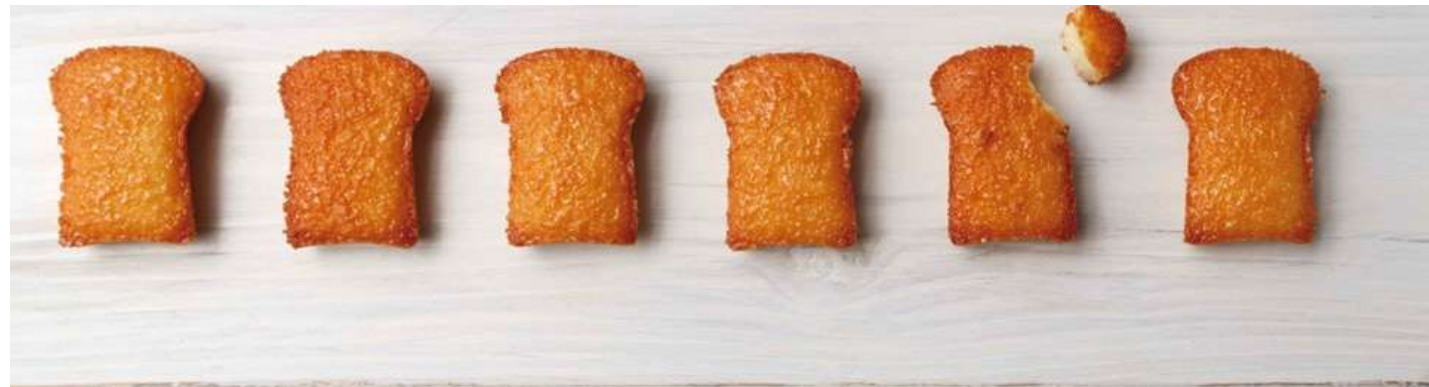


更なる売上増大及び生産性の向上により、収益改善を図る

- ・主力商品強化及び新商品投入などにより長崎及び福岡エリアの売上増大を図る
- ・フレンチトースト専門店「Ivorish」は、既存店の充実と催事展開を強化し、ブランド認知度の向上を図る

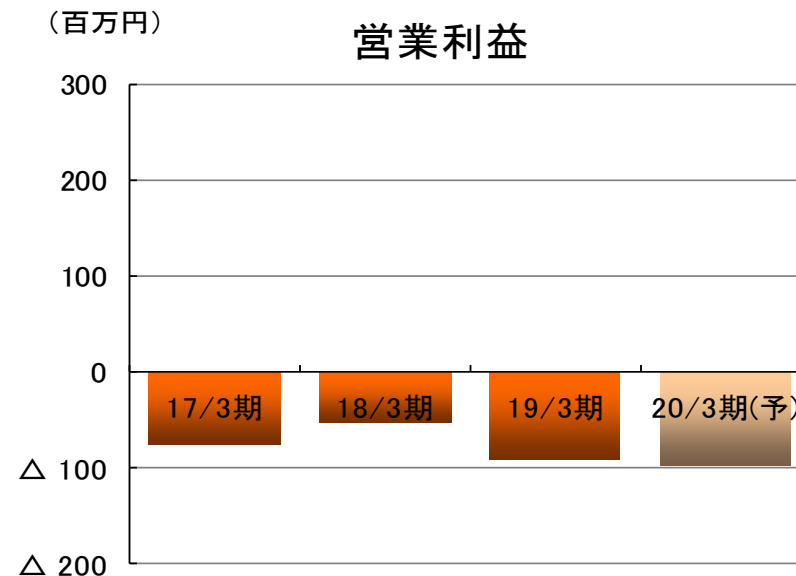
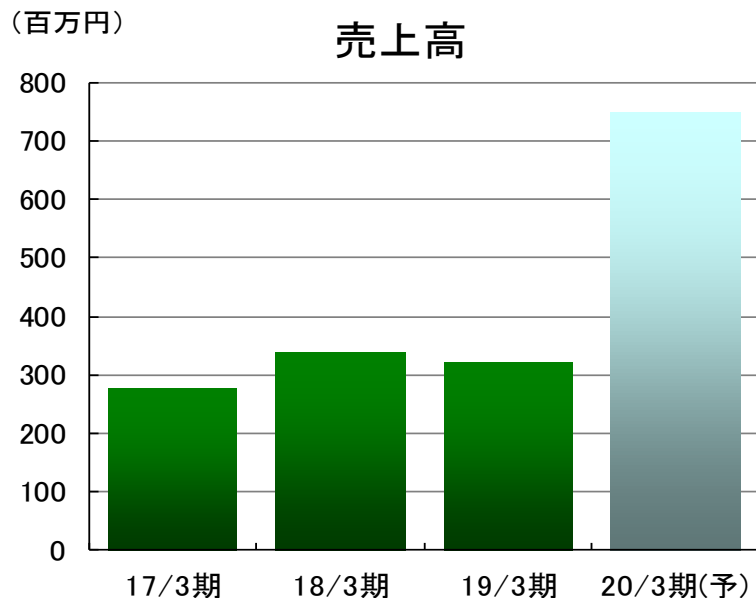


Ivorish フレンチトーストクッキー



《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾・香港)菓子事業>

20/3期予想:売上高 **750**百万円(前期比**+133.4%**)営業利益 **△97**百万円(前期△91百万円)



その他

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	278	340	321	△ 19	△ 5.5	750	429	133.4
売上総利益	175	198	191	△ 7	△ 3.4	468	277	144.4
粗利率	62.9	58.3	59.6	1.3		62.4	2.8	
販売管理費	250	251	283	32	12.8	565	282	99.7
営業利益	△ 75	△ 53	△ 91	△ 39	-	△ 97	△ 6	-

●20/3期(予想)より香港の連結子会社 Honey Sucrey Limitedを「その他」セグメントに含めております。

《その他》

- ・台湾菓子事業 ブランド価値の向上、新規出店などにより経営改善を図る
- ・香港菓子事業 既存店の売場改善、ハイブリッド型店舗獲得により事業再建を図る
- ・健康食品事業(純藍事業) 藍の認知度拡大と薬局向け卸ビジネスの構築に注力



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
台湾 Breeze南山atre店(2019年1月)



LeTAO 香港 Mira Place店 (2018年7月)



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2019年3月31日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

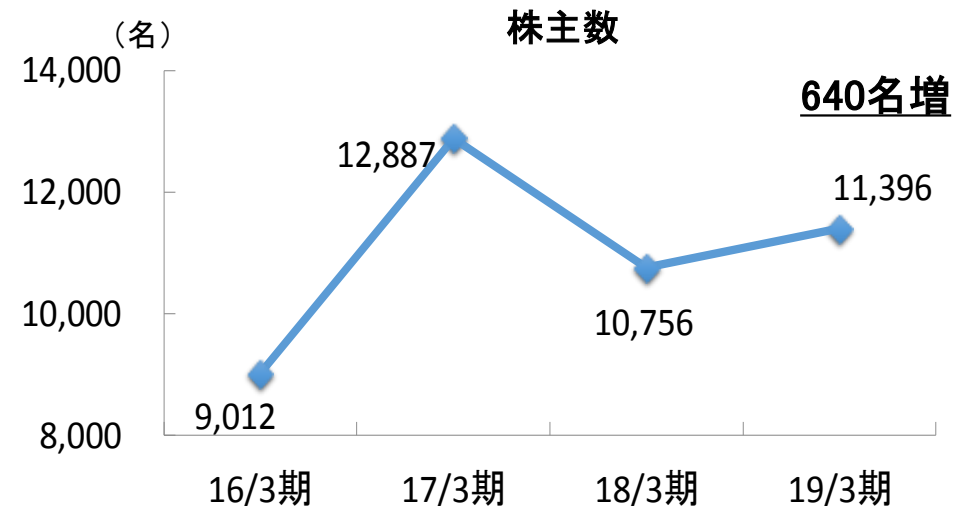
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 11,396名

(対前期末比 640名増)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	1,715,100	5.51
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,475,800	4.74
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
とりぎんリース株式会社	762,000	2.45

注)出資比率は、自己株式1,863株を除く

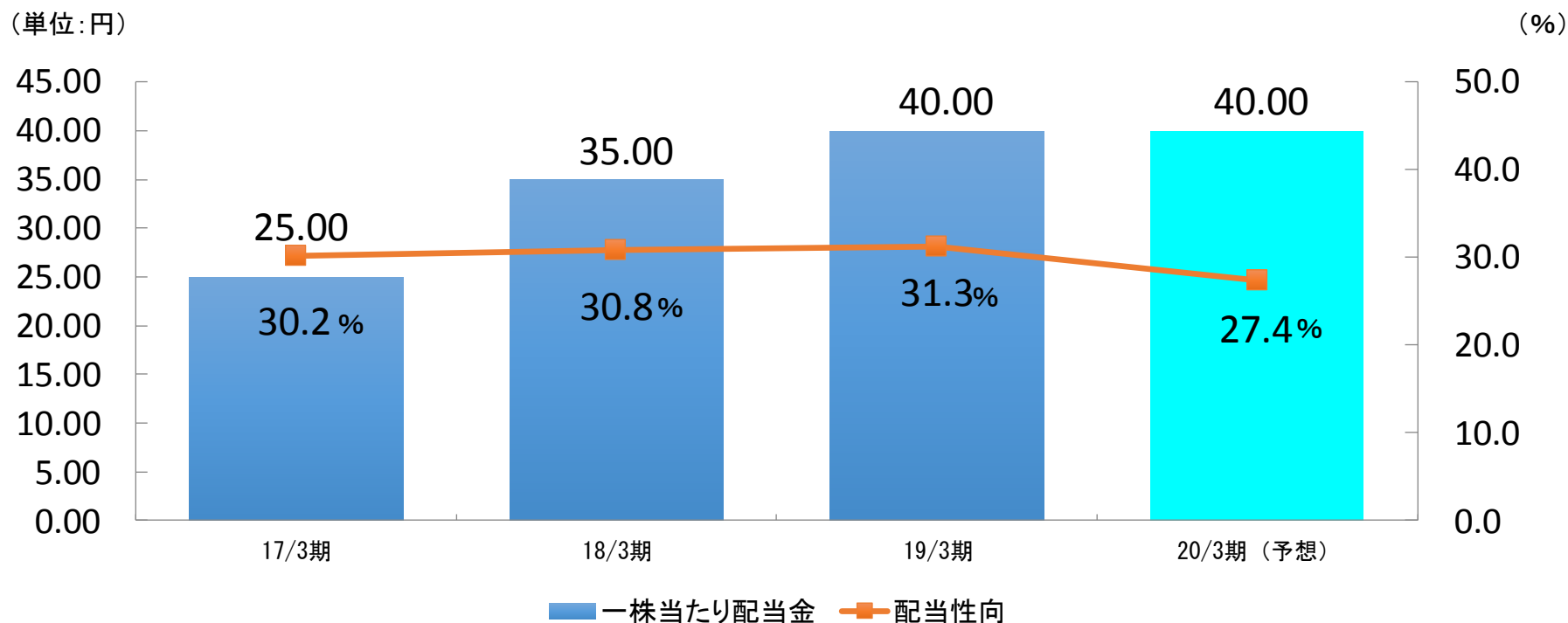
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2020年3月期1株当たり配当金予想 **40円**

一株当たり配当金・配当性向推移



株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

【2019年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様
2,000円相当のグループ製品



500株以上ご所有の株主様
4,000円相当のグループ製品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体9名・連結1,433名
グループ会社	連結子会社18社(国内16社・海外2社)
連結売上高	408億円(2019年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。
- 2018年11月 (平成30年) 合併会社の持分取得によりHoney Sucrey Limitedを子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



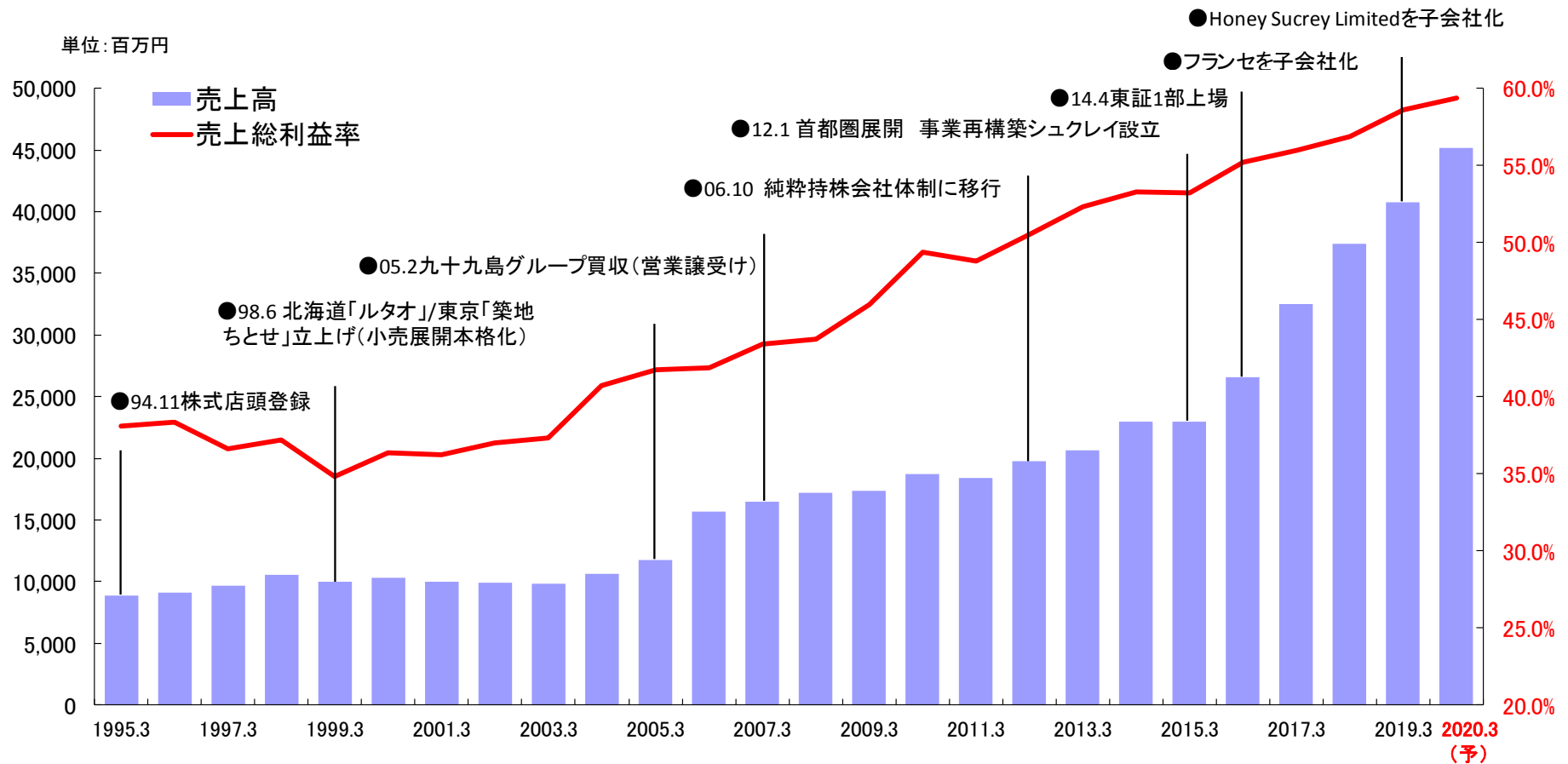
“ドゥーブルフロマーージュ”



“九十九島せんぺい”

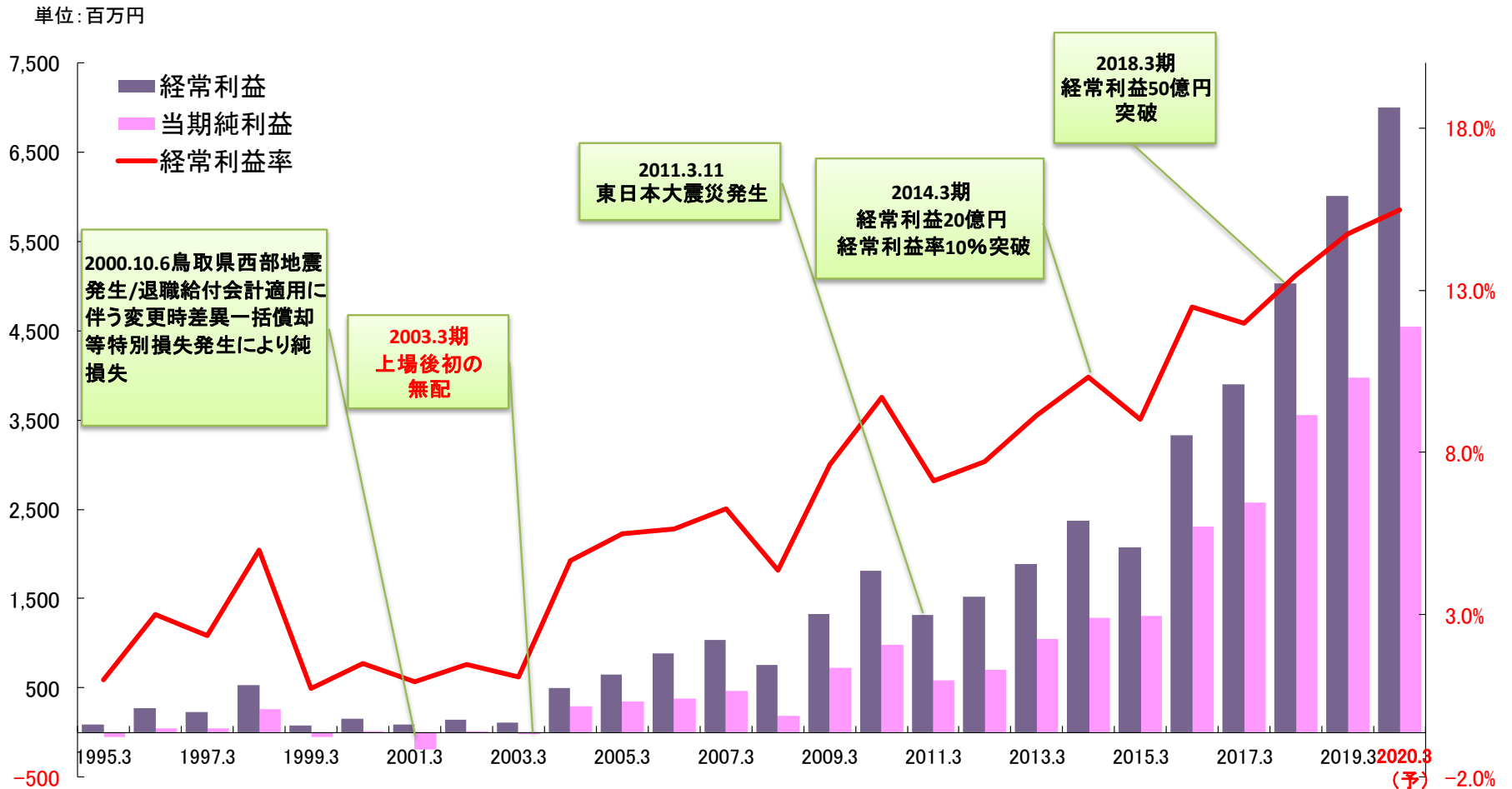
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

2018.3期 初の経常利益50億円突破



主要ショップブランド



(福岡・東京)



(山陰)



(兵庫)



(北海道)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(東京)



FRANÇAIS (東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

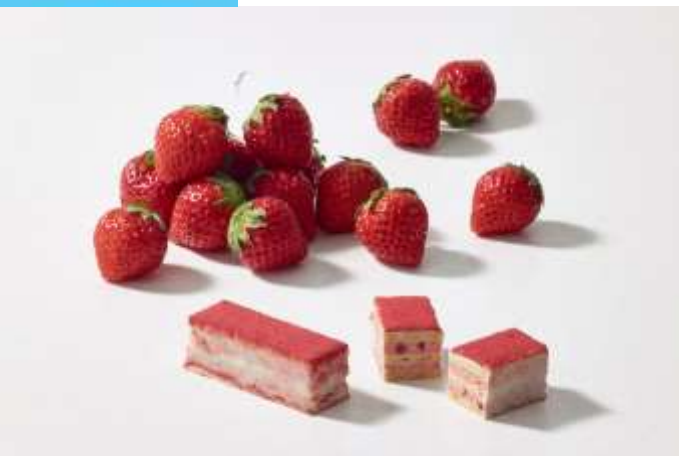
「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



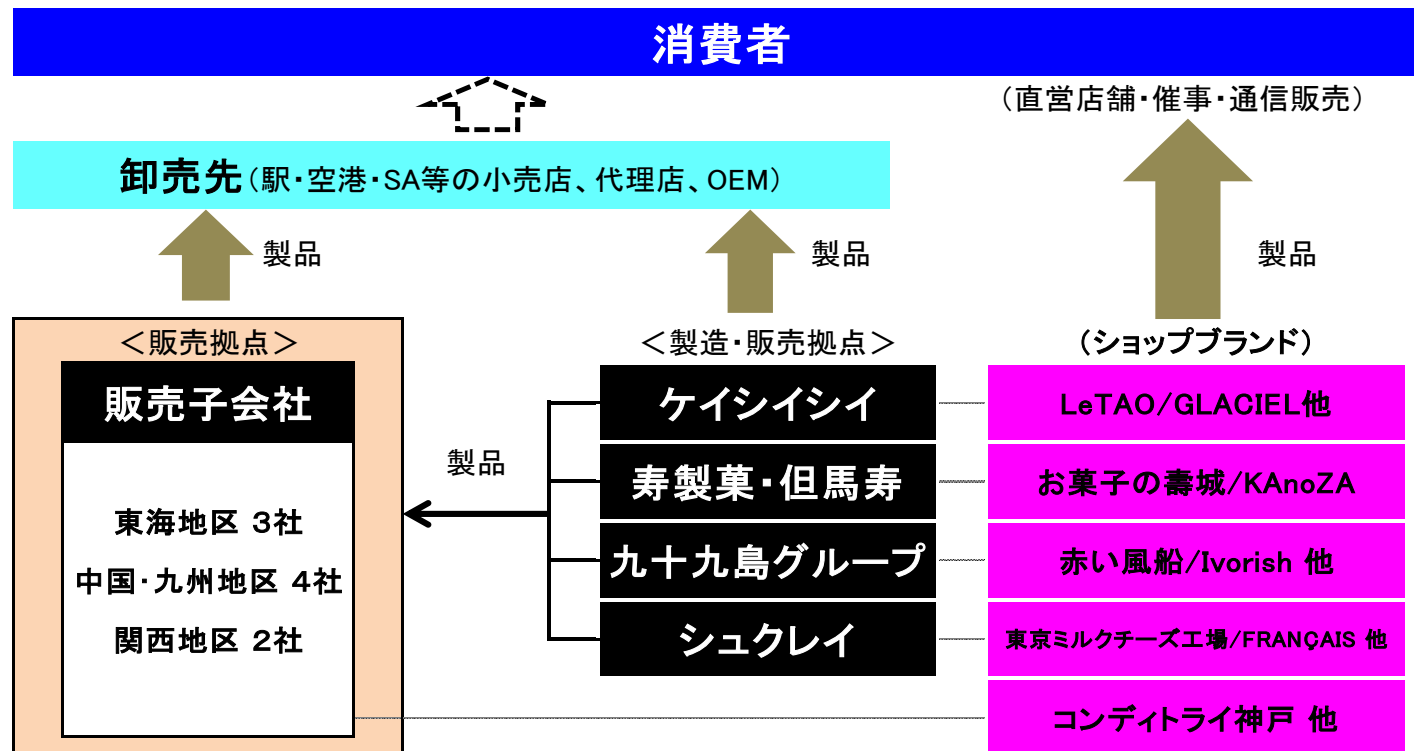
「九十九島せんべい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。

《シュクレイ》

●MILLE-FEUILLE MAISON FRANCAIS 5周年

MILLE-FEUILLE MAISON FRANCAIS はおかげさまで5周年を迎える事ができました。「おもてなし」をコンセプトとした新たな制服で銀座にお越しになる皆様をお迎えし、ひとつひとつ丁寧に、物語を綴るように焼き上げたミルフィユをお届けします。



《ケイシイシイ》

- さっぽろスイーツ2019コンペティショングランプリで小樽洋菓子舗ルタオの
パティシエールがグランプリを獲得!!

数々の優れた北海道スイーツを発信する、さっぽろスイーツコンペティショングランプリ。
市民の方のアイデアを元にパティシエールが創り出した「SAPPOROかぼちゃガトーショコラ」は
北海道産かぼちゃの風味と、甘さを控えめのショコラのバランスが絶妙なスイーツに仕上がりました。



SAPPOROかぼちゃガトーショコラ



小樽洋菓子舗ルタオパティシエール
前田汐里さん

《寿製菓・但馬寿》

●お菓子の壽城25周年

おかげさまで、お菓子の壽城は25周年を迎えることができました。
昨年、10月に開催した感謝祭では、県内外から多くの方にご来場、ご参加を頂き
社員一同心を込めて長年の感謝の想いをお伝えいたしました。



《九十九島グループ》

●令和せんぺい発売

九十九島せんぺいは、昭和23年に佐世保で誕生し、昭和、平成と時代を越えて多くの方々に愛されてきました。新元号令和を迎え、改めてお菓子創りが出来る事に感謝し、お客様とともに新たな時代を歩んでいける喜びを形にしました。



材料はたった3つ
シンプルなせんぺい

九十九島せんぺいは
3種類の小麦粉
ザラメ(砂糖)、ピーナッツ
このたった3つの材料だけ。
砂糖と小麦粉の
絶妙なバランスで、
パリッと空気を含んだような
独特の食感に焼き上げます。